

CLIPPER

快速艇

No.132 2025 令和7年2月28日

いあいさつ



PTA会長 宮田 明久

日頃より伏木高校PTA活動に対して、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。この一年間、多くの方々を支えていただきながらPTA会長を務めて参りました。皆様からの温かいご指導やご協力により、私自身、いろいろと勉強する機会をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

この一年間の活動の中で最も胸が熱くなったことは、体育大会の閉会式でのことでした。「完全燃焼〜みんなで勝利を掴み取れ!」のスローガンを受け、私の「激励の言葉」として生徒諸君に「皆さん、完全燃焼したか!」と聞いたところ、「した!」と大きな声が返ってきました。その屈託のない元気な反応が忘れられません。最高でした。帰る際には、生徒から握手を求められ、嬉しいやら照れくさいやら、「伏木高校、熱いぜ!」と思っただけでした。

また、高岡地区高等学校PTA指導者研修会と富山県高等学校PTA大会では、本校のPTA活動について発表しました。発表後に「これからのロシアと中国との交流はどうなりますか」と質問され、私は「伏木高校の生徒がこれから創り出すと信じています。」と答えました。

この一年間の経験を通じて、私なりに伏木高校の在り方について考えてみました。それは、国際交流を通してお互いに尊重する心を養い、手と手を取り合って友情の架け橋になることだと思えます。ベップトーク(やる気を引き出す言葉)のように、「できる!できる!」と声を掛け合ってポジティブに前進していけば、伏木高校生は必ずや新たな道を拓いていくと信じています。

国際交流で得られるもの



校長 高野 靖彦

本校PTAの皆様におかれましては、日頃より本校教育活動へのご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本年度は、本校の国際交流事業において韓国清明高校訪問団の受入れが5年ぶりに再開されました。以前と大きく異なるのは、訪問団の日程が3泊4日と短くなり、本校滞在も1日のみとなったことです。こうした日程において如何にすれば生徒同士の交流が深まり、かつ日本の良さを体感していただけるのか、国際部を中心に教員間及びPTA役員の皆さんとも協議を重ねました。その結果、1泊であってもホームステイを行い、ホームルーム活動と日本文化体験(琴・茶道・書道)を重視することを柱に据えました。さらに昼食時間も一緒に教室で過ごすことで、滞在時間の密度を少しでも濃くすることにしました。

歓迎式では、互いの学校生活を紹介し、清明高校生がKポップのダンスを披露してくれて盛り上がりました。昼食のそうめんは、PTA国際交流委員の方々がつくってください、清明高校の先生・生徒が「とても美味しい」と喜んでおられました。ホームルーム活動と日本文化体験も「伏木高校の生徒が優しく教えてくれて楽しかった」との感想をいただきました。

私が今回、清明高校の生徒を見て驚いたのは、日本語を流暢に話していたことです。高校の授業だけでなく、語学を自主的に学び、自分のものとして身に付けていると感じました。おそらく本校の生徒もそのような感想をもち、今回の国際交流を通して普段とは違うことに触れ、そこから大いに刺激を受け、改めて自身を見つめる機会となったのではないのでしょうか。

国際交流では多くのものが得られると思います。異文化や多様性の理解、コミュニケーション能力や行動力の向上などが挙げられますが、私は国際交流によって最終的に自分がどのように生きるのか、その姿勢を問い直すことにつながると考えています。伏木高生が同年代の海外友好校の高校生から何かを学び、現在の生き方を見つめ、これからのより良い人生を切り拓いていくと願っています。

Our New Stage

私 たち の
新 た な る
段 階 へ

第77回体育大会 (令和6年6月6日)

『完全燃焼～みんなて勝利を掴み取れ!～』



PTA活動(1学期)

教育懇談会

5月11日(土)
令和6年度教育懇談会が本校第一体育館にて行われました。

まず、PTA・教育振興会・育成会の定期総会において、令和5年度の事業報告・会計決算報告・PTA役員改選・令和6年度の事業計画等の報告があり、次に全体研修会として、昨



高岡地区PTA研修会

6月12日(水)
高岡市生涯学習センターにて高岡地区PTA指導者研修会が開催されました。本校からはPTA会長、副会長2名と校長、係の教諭1名の5名で参加させていただきました。研修会では福岡高校、高岡南高校、本校の3校から研究発表がありました。その後PTA活動の在り方について意見交換がありました。

その後、真生会富山病院心療内科部長の明橋大二先生から「見逃さないで!子供の心のSOS」(思春期の子育てハッピーアドバイザー)という題で講演がありました。思春期の子供の不安定な心理状態について理解を深め、また、子供たちが抱えている悩みに対し、伝え方ひとつで、受け止め方が変わる事が分かり、言葉の大切さを改めて学ぶ機会となりました。

職業人講話

6月29日(土)
1、2学年の生徒を対象に職業人講話が開催されました。この行事はPTA役員や本校OBの協力のもと、各分野で活躍している方々から働く現場の状況や仕事内容について話を伺う企画です。



さわやか運動

6月11日(火)～14日(金)
生徒安全委員長 中川 敦子
参加している生徒、先生方から、大きな声で気持ちの良い挨拶で迎えていただきました。

さわやか運動

年12月に2年生を対象に実施した語学研修報告がありました。生徒たちは、台湾、韓国、北海道で体験してきた内容について、分かりやすいスライドを作成し、第2外国語を使うなど、工夫しながら報告をし、保護者の方も熱心に耳を傾けていました。学年別研修会では、生徒の学校での様子や進学、就職に関する事を各学年から説明を受けました。

とも多感な時期、挨拶を交わすことに抵抗があるかと思っておりましたが、全くいらぬ心配でした。また、なかなか見られない学校生活の様子を感じることができ、とても貴重な経験をさせていただきました。生徒達の元氣な挨拶と共に明るい顔が見られ、こちらも元氣をいただきました。



参加保護者の言葉

1年保護者 加治 薫
今回初めて参加させていただきました。

朝の忙しい時間ではございますが、保護者の方々にも、ぜひ一度、短時間でも参加していただけたらと思います。

きました。初めは興味本位で参加しましたが、保護者の方が、ご自身の職業紹介という形だったので、聞いているこちら側も緊張感が伝わり、ドキドキしました。子供たちもさすが高校生、メモを取りながら真剣に耳を傾けている姿に成長を感じました。9名の方が講師としてお話ししてくださいました。どれもとても貴重なお話で、改めて自分自身を振り返る機会ができました。

どの仕事も人と人との関係性で成り立っていること、挨拶の大切さや物事に対して誠実に向き合い、そこから生まれる信頼関係、コミュニケーションの必要性を実感でき、とても良かったです。お話をしてくださった保護者の皆様忙しいなか、準備をしてくださりありがとうございました。

このお話を聞いて、生徒さんたちが一社会人として成長していくためのきっかけになれば嬉しいです。

清明高校来校

7月12日(金)



歓迎式

7月12日(金)
 1限 清明高校来校
 2限 歓迎式
 3限 1、3学年の活動に参加
 1年 (セミナーハウス) ①イントロクイズ ②ジェスチャーゲーム
 3年 (31H) ケーキ作り、(32H) フルーツポンチ作り、(33H) 日韓交流ゲーム
 4限 2学年の活動(そうめん等日本の食文化体験)に参加、(21H) お菓子、天ぷら等、(22H) ドーナッツ等、(23H) スイカ割り等
 午後 日本文化体験
 琴演奏、茶道、書道
 解散 各受入家庭へ(ホームステイ)
 7月13日(土)
 学校集合、出発



33H 町口晟衣菜
 昨年の失敗を成功に変えるために夏休み中、仲間との練習時間を大切にしました。全国3位という結果を残すことができ、仲間と高校生活最後の夏によい思い出を作ることができてよかったです。

33H 前 和花
 万葉バトルに参加して、より短歌の魅力を知ることができました。短歌を作るにあたって自分の思いを入れつつ読み手に伝わるようにすることや、あえて単語で区切るようにして工夫しました。チームのみんなともだんだん仲

万葉短歌バトルin高岡(ウイングウイング高岡) 8月22日(木)
祝 第9回高校生万葉短歌バトル第3位
 チーム「完全燃焼」町口晟衣菜・仁岸航・前和花



良くなってい
 き、お互いの
 足りないところ
 を補いあつ
 て、よい結果
 を残すことが
 できてよかつ
 たです。



国際交流委員

そうめん作り

2年保護者 山田 祐子
 ホストファミリー 報告
 受け入れた韓国の生徒さんの前日と家に泊まった次の日の食事の内容が分かったのでとても助かりました。スケジュール的に難しいかもしれませんが、せめてもう半日くらいあれば、もつと行きたい所に連れて行ってあげられたと思います。今後可能でしたらスケジュールを検討いただけたら幸いです。家に海外の子が泊まりに来てくれる機会はなかなかありませんし、とても楽しい時間でした。



あつという間でしたが、子供達にはこれをきっかけに海外にも興味をもってくれたら嬉しく思います。このような貴重な体験をさせていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

高校生万葉短歌バトル3年連続全国大会出場 / NHK短歌「ことばのパトン」出演

第2学年語学研修

12 / 16(月) ~ 20(金)

昨年度に引き続き、国外2ヶ所、国内1ヶ所で語学研修を実施しました。第2外国語の中国語選択者16名が他のコースより1日早い12月16日(月)に出発をし、台湾を訪れ、韓国語選択者43名とロシア語選択者18名が17日(火) ~ 20日(金)に、それぞれ韓国、北海道で研修を実施しました。

韓国語コース

満喫できたソウル

21H 河原音乃果

今回の語学研修で初めて海外に行きました。現地の方や清明高校の皆さんと韓国語を使っての会話に挑戦しました。清明高校では体験授業やバディのクラスでのHRに参加しました。現地の高校生とうまくやり取りできると嬉しかったです。今年からホームステイができるようになります。私はホームステイ先の皆さんと話をしたり、一緒にボードゲームを楽しんだりと本当によかったです。今年の観光はグループで活動しました。



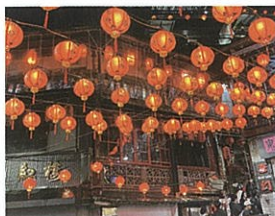
日本語を話せる店員さんも多く、2つの言語を使いながら、ソウルの街を満喫しました。

中国語コース

台湾の人々と交流してみて

21H 中居 心音

私たちが新北市立高級中学校に訪問した際に、現地の生徒さんが「こんにちは」と元気よく日本語で挨拶をしてくれました。中国語で伏木高校と日本文化を紹介しました。一方通行のプレゼンにならないよう日本の遊びを体験してもらい、アニメに関するクイズ大会を開催しました。皆が積極的に参加し、大変盛り上がることができました。昼休みは現地の生徒さんたちと一緒にちと一緒にお弁当を食べました。その間も色々と話ができ、嬉しかったです。



みは現地の生徒さんたちと一緒にちと一緒にお弁当を食べました。その間も色々と話ができ、嬉しかったです。

ここに行っても親切にしてくださり、現地の皆さんの人柄の良さが伝わり、心が温まりました。

ロシア語コース

語学研修で得たこと

21H 塚原里枝菜

今回の語学研修旅行では、訪れたそれぞれの場所ので有意義な学びを得られました。特に函館山や五稜郭タワーから望む景色は壮観で、戊辰戦争最後の戦いの地である五稜郭を含め函館市街を一望できた時、言葉を失いました。



かつて志を抱いた先人たちが、様々な条件と闘いながら自分たちの生活を築きあげてきたこと。それを文化として何世代にもわたって受け継ぎ、脈々と築き上げてきたのが、目の前のこの景色なのだと思うと、胸がずん、と重くなるような心地を覚ええました。その感覚はこれから先も、きっと忘れることはないと思います。

世界の食文化体験

例年、第2外国語の先生方を講師としてお招きし、各国の料理を体験するこの企画は、3年生を対象に実施されています。この授業のために講師の先生方が入念に計画し、準備した材料で、生徒と一緒に調理します。料理にまつわる様々なお話を耳を傾けながら味わうこの行事は、本校の3年生にとって特に思い深い行事の一つと言えます。

韓国料理

12月16日(月)

◆料理名 (チャプチェ)

◆講師 金 光淑先生 朴 元美先生



身近な材料と素材を利用し、チャプチェは、私が考えている以上に簡単に作る事ができました。友人と協力しながらのチャプチェはとてもおいしく、楽しかったです。今度はお家ででも作ってみようと思いました。

33H 松波 恋果

中国料理

12月18日(水)

◆料理名 (水餃子)

◆講師 鄒 姪先生 牧野さち子先生



今回の料理体験では、様々な人と協力することができました。丸い状態の皮を麺棒で伸ばす作業、皮に種を入れて包む作業、できた餃子を鍋でゆでる作業、後片付け等、地道な作業の繰り返しでした。



ロシア料理

12月20日(金)

◆料理名 (ボルシチ・ヨーギキ)

◆講師 オクサーナ・ボンダレンコ先生



33H 坂森 優萌

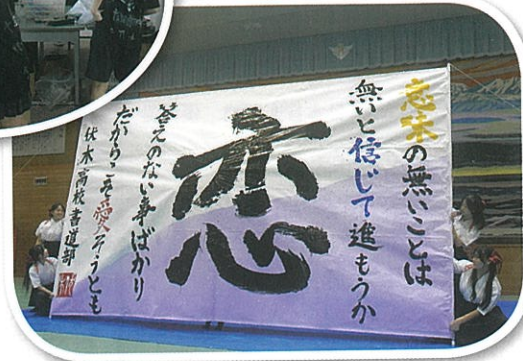
料理は先生がほとんど作ってくれたので私たちはお皿に盛りつけたり、席に運んだりなどのお手伝いをしました。今回体験したロシア料理は、日本料理で使われていないような食材ばかり使われていて、初めて味わったけどとても美味しかったです。見た目もきれいで色鮮やかでした。ロシア料理を食べる機会は今度になく、今回だけでも良い経験ができました。



文化祭

9月27日(金)

『メモリーに残せ〜最高の青春を〜』



後期生徒会長 23 H 高辻 愛
 今年の文化祭は生徒会で話し合い、ルールを緩和させました。1、2年生のクラスでの出し物はユニフォームあふれるものばかりでした。伏木高校はクラス全体が仲良く、文化祭に向けての準備も楽しんでる様子が見受けられました。生徒会では、先生クイズと生徒会ステージを企画しました。文化祭を運営することは難しく感じましたが、生徒会全員で協力し合い、成果裏に終わらせることができました。また、輝かしい盛り上がりや達成感を味わい、忘れられない思い出となりました。

卒業に寄せて

「新たな時代に向けて」

3学年主任 川淵 理絵

今年度の卒業生は、怒涛の3年間を過ごしたと思います。入学当初はコロナ禍のため、様々な制約があり、黙食等のルールのもと学校生活を送っていました。そして2学年になり、語学研修などの行事や制約のない中の教育活動が再開しました。大変喜ばしいことではありますが、例のない初めてのことや手探りの部分が多く、きつと不安やとまどいがあったことでしょう。しかし、新たな課題に対して、持ち前の柔軟な発想力や積極的な行動力を活かし、様々な状況を乗り越えていました。さらに、現代の時代にあったアイデアを提案する姿には、「高校生を持つ可能性はまさに無限」だと実感しました。

日々変化する社会の中で、昨今、自ら課題をみつけ、その課題を解決しようとする課題解決能力が求められています。予期せぬことが起こったときにも、これまでの経験を糧として、知恵を絞り、しなやかに乗り越え、より良い新たな環境をつくり上げていってほしいと切に願っています。

最後になりますが、保護者の皆様にはいつも本校の教育活動に温かなご支援を賜り心より感謝しております。そして、3学年の保護者の皆様、ご卒業おめ

でとうございます。皆様の今後のご健康とご多幸をお祈りいたします。

前進

卒業生代表 33 H 林原 春海

3年間を振り返ると、本当にあつという間だったように感じます。伏木高校に入学した頃は何もかもが新鮮で、戸惑いや不安だった日々が懐かしく思い出されます。友人とふざけ合い、眠気と闘いながら授業を受け、行事の準備で疲れて帰る。そんな毎日が積み重なっていく中で、私は少しずつ成長してきたように思います。

特に、3年次に生徒会長を務めたことは私にとって貴重な経験となりました。もちろん楽しいことばかりではありませんでした。でも、友人たちと一緒に悩み、笑いあい、乗り越えることができた時間は私たちにとってとても大切な財産だと思います。これから進むそれぞれの道で、伏木高校で得た経験がきつと力になってくれるはずですが、これまで支えてくださった全ての方々に感謝しながら、新たなことにも恐れず挑戦していく努力を続けていきたいと思っております。



PTA活動報告

総務委員会

中居 美樹

令和6年度から本校のPTA組織の改編によって、昨年まで5つあった委員会が、今年度から総務委員会、生徒安全委員会、国際委員会の3つの委員会で運営する運びとなりました。PTA組織や活動内容のスリム化によって、保護者が参加しやすい環境をつくるためです。

総務委員会は職業人講話の開催とPTA会誌の発行を担当しています。6月の職業人講話では、先生や講師の皆様のおかげで、生徒は、進路選択の上で貴重なお話を伺うことができました。

PTA会誌「CLIPPER」の発行は、これまで7月と2月末の年2回でしたが、今年から年1回の発行となりました。学校行事での生徒の活躍や、それを支えるPTAの活

動が分かりやすく伝わるようカラーの紙面を生かしてリアルに発信していく意向です。

職業人講話の開催、および広報誌を発行するにあたり、お忙しい中、準備や運営、写真の撮影や原稿の執筆等、様々な形でご尽力いただき、皆様には心よりお礼申し上げます。

生徒安全委員会

中川 敦子

5月の伏木曳山祭りでの巡回指導と6月のさわやか運動に参加しました。

伏木曳山祭りは、生徒の皆さんが安全に祭りを楽しめるよう気を引き締めて巡回をしました。

さわやか運動では、登下校路にて声かけ、交通安全指導を行いました。普段見ることができない生徒達の様子が見近で感じられ、また、明るく元氣な挨拶を交わす事で、私自身

温かい気持ちになりました。12月に開催された学校保健委員会で、3年生5名の保健委員の生徒さんが「日々の生活の中に運動をプラスしよう」というテーマで、室内でできる様々な運動を紹介してくださいました。この発表を通して、保健委員会の生徒さんが主体となり、健康的な学校生活づくりを支援している様子を知ることができました。また、学校医の方々からは、学校での過ごし方等のご指導もいただくことができました。

今後とも生徒、先生、保護者が三位一体となり、よりよい学校生活になるよう活動をして参りますので、ご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。

国際交流委員会

渡辺 孝志

国際交流が特色である伏木高校では、毎年、中国大連市第二中学、

韓国清明高等学校、ロシアガルモニア校とホームステイを中心とした交流活動を行っております。ホームステイの他、定期的な各種行事を実施することで、相互交流を一層活発に行うことが目的です。

流動的な国際状況によりロシアと中国には行けませんでしたが、今年度は韓国清明高校生とのホームステイを実現できました。それに先立って、7月12日に韓国清明高校生38名を伏木高校に迎えて交流し親睦を深めました。また、1泊ですが同校生徒をホームステイに迎えることができました。これも伏木高校の先生方、PTAの皆さまのご尽力の賜物であると大変感謝しております。

今後、これらの国際交流活動を通じて、伏木高校生が国際人として成長し、社会に巣立っていくことを切に願っています。

令和6年度 大会等受賞記録

(サッカー部)

富山県U-18フットサルリーグ2024 一部 県大会 準優勝(全国大会出場)



(書道部)

第49回富山県青少年美術展 書部門 入選 松井 季奈(12H) 特選 平井 愛乃(21H) 奨励賞 堀田 美花(11H) 奨励賞 杉本 南穂(12H) 奨励賞 松井 季奈(12H) 敢闘賞 井口 光星(11H) 特賞 井口 光星(11H) 優秀賞 平井 愛乃(21H) 優秀賞 松井 季奈(12H) 秀作賞 堀田 美花(11H) 努力賞 杉本 南穂(12H)

第23回全国書道展

(琴部)

第34回富山県高等学校日本音楽演奏会 日本音楽部門 優秀賞

(その他)

第9回高校生万葉短歌バトル in 高岡 (全国大会) 第3位 チーム「完全燃焼」 仁岸 航(33H) 前 和花(33H) 町口晟衣菜(33H)

「高志の国文学」情景作品コンクール 文芸部門 金賞 鶴谷 和奈(11H)

第25回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール 入選 中嶋乃々葉(13H)

チューリップテレビ「ハイスクールチェック」グッドリポーター賞 生地 真知(23H)

国際ロータリー第2610地区 ガバナー表彰 林原 春海(33H)

第25回北陸地区高校生中国語発表会 初級朗読部門 優秀賞 中居 心音(21H)

「2024年度 話してみよう韓国語」富山大会 最優秀賞(全国大会出場) 南部 絢加(21H) 才川 葵(22H)

第42回富山県高校生の平和作品展 主張部門 佳作 河原音乃果(21H)

進路状況(合格者数)

(延べ人数) R7.2.7 現在

〈国公立大学/7名〉信州大、富山県立大、長野大、新潟県立大、群馬県立女子大

〈私立大学/17名〉富山国際大、金沢学院大、金沢星稜大、北陸大、福井工業大、立命館大、京都橋大、桜美林大、東京国際大、関西医療大、昭和女子大、桜花学園大

〈短期大学/7名〉富山短大、富山福祉短大、金沢星稜大女子短大部、愛知文教女子短大、名古屋文化短大

〈専門学校/42名〉高岡看護専、北陸職業能力開発大学校、富山県技術専、富山県理容美容専、富山歯科総合学院、富山自動車整備専、富山情報ビジネス専、富山大原簿記公務員医療専、富山国際ペットビジネス専、スーパースイーツ製菓専、金沢医療技術専、国際動物看護専、専門学校金沢美専、埼玉東萌美容専、新東京歯科衛生士学校、成田航空ビジネス専、東京ビジュアルアーツアカデミー、代々木アニメーション学院

〈就職/19名〉

株式会社プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン、BBSジャパン株式会社、クマキ株式会社、塩谷建設株式会社、株式会社タカギセイコー、TFBファクトリーズ株式会社、アユナユ、クラシエ製菓株式会社、庄川温泉観光ホテル株式会社、アイシン軽金属株式会社、有限会社LEGEND OF K、Rishel、富山住友電工株式会社、自衛官、富山県警察

行事予定

- 3/6(木) 7(金) 学力検査
3/24(月) 三学期終業式
4/8(火) 始業式・入学式
5/10(土) 教育懇談会
6/11(水) 体育大会

伏木高校の公式インスタグラムができました。ぜひご覧いただき、フォローをよろしくお願いします！



あとがき

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。伏木高校で学んで得た知識、仲間との絆を一生の財産とし、これからの新しいステージに自信を持って進んでください。皆さんが活躍される事を期待しています。広報誌発行にあたりご協力いただいた校長先生をはじめ先生方、PTAの皆様ありがとうございました。(総務委員会)

第55回東海北陸社会教育研究大会富山大会 第52回富山県社会教育大会 参加報告 PTA副会長 新石 淳一

10月10日、11日の両日、富山県民会館にて東海北陸社会教育研究大会が開催されました。初日はアトラクションとして越中五箇山こきりこ唄保存会の皆様の発表の後、射水市出身のフォトグラファーのイナガキヤスト氏の講演がありました。イナガキヤさんがこれまでSNS等で発表された写真をスライドで紹介されました。どの写真も素晴らしい、富山県内にこんな素敵な場所があるのかと、心が躍るような気持ちで氏の言葉に耳を傾けました。

11日は、5つの分科会に分かれ、東海北陸6県の方々とご一緒し、ウェルビーイングの向上に向けた県内の社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をしました。